

日本国大阪市と英国グレーター・マンチェスター合同行政機構との 姉妹都市提携の締結

日本国と英国は、従来からグローバルな戦略的パートナーとして良好な関係を保持している。

大阪市（日本国）とグレーター・マンチェスター（英国、イングランド）はこれまで、経済、環境、教育、文化の分野において交流を進め、関係を深めてきた。

大阪市とグレーター・マンチェスター合同行政機構は、相互理解と友好親善の促進に取り組むという共通の志に基づき、姉妹都市提携を締結する。

以下、両当事者（大阪市、グレーター・マンチェスター合同行政機構）を総称して「両者」という。

両者は、次の事項について共通認識を得た。

1. 両者は、それぞれの権限の範囲内で、各々の国で有効な法令の許す限り、平等と相互利益を基本とした上で、相互の繁栄と発展の促進のために協力する。
2. 両者は、それぞれの政府の政策、国内法、国際的な義務に適合する範囲で、経済的な連携、並びに環境、イノベーション、科学技術、教育、観光、文化、スポーツ及び双方のコミュニティに恩恵をもたらすその他のあらゆる関心領域におけるつながりの醸成を図るために相互に協力する。
3. 両者は、本姉妹都市提携の実施に関して、明確な成果を上げ相互利益を実現するために、協力の方法や進め方、連携する内容について協議する。

本協定は、英語、日本語により各々2通作成し、マンチェスターにて署名した。

本協定は署名の日から発効し、いずれか一方が他方に対し6ヵ月前に書面で終了の意向を通知するまで有効とする。

2025年9月5日

大阪市長

グレーター・マンチェスター市長

横山 英幸

アンディ・バーナム

